

備えは大丈夫？

火災から身を守る対策

空気が乾燥し風の強い日が多く、火災が発生しやすい季節です。
空気が乾燥していると火がつきやすいだけではなく、火のまわりも早くなるため、ちょっとした出火が大火災につながることもあります。
そのため、より一層、火の取り扱いには注意が必要です。
火災から大事な命を守るため、ご家族皆さんでいざという時に備えましょう。



●火災になりやすい原因

建物火災の原因は、「こんろ」「たばこ」「ストーブ」等の割合が多く、次に「配線器具」「電気機器」等が挙げられます。コンセント等の電気設備からの出火や、人がいない部屋からの出火の原因には、ゴキブリやネズミ、ペット等も関連していることがあります。そのため、建物内外の環境に注意しましょう。

●火災が起きにくい環境づくりを心掛ける

家の中や周囲等は、あらかじめ火災が起きにくいような環境作りを心掛けましょう。ストーブの周りに物を置かない、ライターやマッチを子どもの手の届く場所に置かない、コンセントの掃除を心掛ける、寝具やエプロン、カーテン等は防災品にする、家の周りにものを置かないといった対策が住宅防火につながります。

●もしも、火災が起きたとき取るべき行動

火災が起きたときは、まずは大きな声で「火事だー！」と叫び、隣近所に知らせましょう。火がまだ横に広がっているうちは消火が可能です。消火器や水だけでなく、ぬれたシーツや毛布など手近なものを利用しましょう。火が背の高さを超えたら初期消火は困難です。無理せず早めに避難しましょう。



消防団員募集！

～あなたの力を消防団に～



いすみ市消防団は《自分たちのまちは自分たちで守る》という使命感をもち地域防災のリーダーとして活動しています。消防団員は、自分の仕事を持ちながら火災や風水害・地震などの災害が発生したときに住民の生命・財産を守るためにがんばっています。消防団入団に関する詳しい事は、いすみ市役所危機管理課消防安全班（☎62-2000）までお問い合わせください。

ご存知ですか？「いすみ市防災メール」



いすみ市では、市民の皆様の命を災害から守るために、防災情報・津波情報・市からのお知らせなどを電子メールを利用して配信しています。登録は無料ですので、是非ご活用ください！

(<https://service.sugumail.com/isumi/>)



〈必ず配信される内容〉

防災情報・地震情報・津波情報
気象情報・国民保護情報

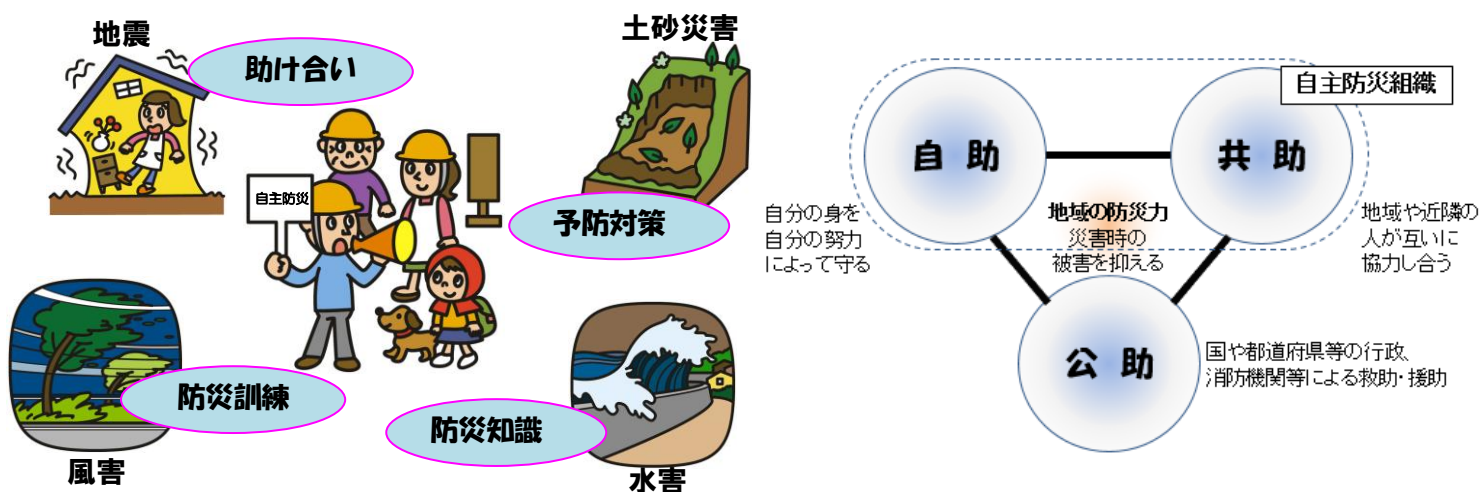
〈配信の選択が可能な情報〉

防犯情報・火災情報
市からのお知らせ(鉄道や市内バスの運行遅れなど)

裏面へ

自主防災組織を結成しましょう！！

災害が発生したとき、普段から生活環境を共有している地域住民同士が相互に協力し合う「共助」が被害軽減のために重要となります。自主防災組織は、平常時は災害に備えるための活動を行い、災害発生時には人命を守り、被害の拡大を防ぐための組織です。



◇自主防災組織はなぜ必要なのでしょう

大地震のような大規模な災害時には、交通網の寸断、通信手段の混乱などで、消防や警察などがすぐに現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の目的です。自分達の地域を災害から守るため、災害についての知識習得や、避難所（場所）の把握など、普段からの取り組みが大きな効果へとつながります。そのためにも、自主防災組織を結成し、災害に備えましょう。

◇自主防災組織の役割

○平常時の活動

- ・ 防災知識の普及・啓発
- ・ 防災資機材の整備
- ・ 地域の防災環境の確認
- ・ 防災訓練の実施

災害に備えるための活動を、日ごろから行います。

○災害時の活動

- ・ 情報の収集・伝達
- ・ 初期消火活動
- ・ 避難誘導活動
- ・ 救出、救護活動

災害発生時に、人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。



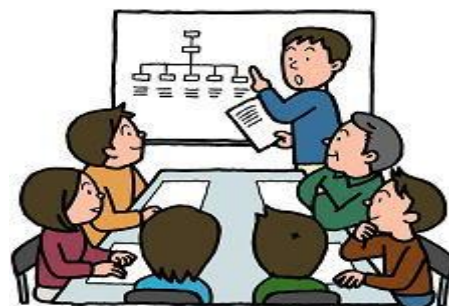
◇自主防災組織を作るには

○組織づくりから活動までの手順

- ・ 地域の住民が協議を行い、組織結成に合意する
- ・ 規約や活動内容（防災計画）などを作成する
- ・ 自主防災組織結成届を提出する

○自主防災活動の3原則

- ・ 政治色や宗教色を出さない
- ・ 無理のない活動計画を
- ・ 活動内容・目標を明確に



◇自主防災組織を結成するときに必要な書類

○自主防災組織結成届出書

(添付書類)

- ・ 組織規約
- ・ 自主防災組織図
- ・ 年間活動計画書

自主防災組織の編成例（一例）

